



2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年7月30日

上場会社名 株式会社 クリップコーポレーション
 コード番号 4705 URL <https://www.clip-cor.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 井上憲氏

問合せ先責任者 (役職名) 管理部マネージャー代行 (氏名) 岡田高志

TEL 052-732-5200

四半期報告書提出予定日 2019年8月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	761	3.4	56		55		61	
2019年3月期第1四半期	736	2.5	82		81		79	

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 74百万円 (%) 2019年3月期第1四半期 87百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	14.81	
2019年3月期第1四半期	19.18	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	6,294	5,342	84.9
2019年3月期	6,386	5,582	87.4

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 5,342百万円 2019年3月期 5,582百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		40.00	40.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		0.00		40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,650	0.3	45	43.7	45	10.5	31	200.5	7.50
通期	3,546	3.3	297	55.4	298	16.7	165	17.4	40.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期1Q	4,536,000 株	2019年3月期	4,536,000 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2020年3月期1Q	401,212 株	2019年3月期	401,212 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期1Q	4,134,788 株	2019年3月期1Q	4,134,788 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用環境の改善などが続く一方で、中小企業を中心とする人手不足への懸念や、米中間の通商問題などの影響から、景気の先行きは依然として不透明な状況であります。

学習塾業界におきましては、少子化の影響で市場の停滞が続くなか、顧客の学習塾選別の目がさらに厳しくなっており、資本・業務提携等の動きが続いております。

こうしたなか、当社グループにおきましては、主力である教育事業及びスポーツ事業において、「体験と学習」の実践の場として農業体験等を積極的に進めることと並行して、新規拠点開設を積極的に推し進めております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高7億61百万円(前年同期比24百万円増)となりました。

利益面につきましては、営業損失56百万円(前年同期は営業損失82百万円)、経常損失55百万円(前年同期は経常損失81百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失61百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失79百万円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(教育事業)

子会社である株式会社螢雪ゼミナールと有限会社アクシスを含む当第1四半期連結累計期間の平均生徒数は6,370名(前年同期比1.3%減)となりましたが、月謝の単価アップを図ったこと等により、売上高は5億24百万円(前年同期比5百万円増)となり、セグメント損失は14百万円(前年同期はセグメント損失42百万円)となりました。

(スポーツ事業)

当第1四半期連結累計期間の平均生徒数は7,441名(前年同期比3.8%増)となり、売上高は1億54百万円(前年同期比19百万円増)、セグメント損失は21百万円(前年同期はセグメント損失14百万円)となりました。

(飲食事業)

添加物・保存料を使用しない弁当の宅配事業を展開しており、当第1四半期連結累計期間の売上高は53百万円(前年同期比0百万円増)、セグメント損失は16百万円(前年同期はセグメント損失19百万円)となりました。

(その他)

バスケット教室事業・農業事業・不動産事業等を行っており、当第1四半期連結累計期間の売上高は29百万円(前年同期比2百万円減)、セグメント損失は5百万円(前年同期はセグメント損失6百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産合計は50億59百万円(前連結会計年度末比1億57百万円減)となりました。

これは主に、現金及び預金が1億49百万円減少したことによるものであります。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産合計は12億34百万円(前連結会計年度末比65百万円増)となりました。

これは主に、投資その他の資産が73百万円増加したことによるものであります。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債合計は8億17百万円(前連結会計年度末比1億47百万円増)となりました。

これは主に、その他(前受金)が1億8百万円増加したことと、短期借入金が増加したことによるものであります。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債合計は1億35百万円(前連結会計年度末比1百万円増)となりました。

これは主に、その他(預かり保証金)が2百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は53億42百万円(前連結会計年度末比2億39百万円減)となりま

した。

これは主に、配当金の支払い等により利益剰余金が2億26百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期において、主力事業である教育事業の平均生徒数実績が、前期比84名減(1.3%減)、予想比25名減(0.4%減)と予想を若干下回る水準で推移しております。スポーツ事業の平均生徒数実績についても、前期比は269名(3.8%増)増加しておりますが、予想比は、19名減(0.3%減)となっております。費用面については、新規拠点開設のための人件費等が増加し、連結売上高については、ほぼ予想通りに推移しておりますが、連結営業利益等は予想を少し下回る水準で推移しております。

スポーツ事業の入会者数については、順調に増加しており、第2四半期以降、新規拠点開設のための投資(募集費用)の回収は進んでいくと予想しております。教育事業についても、子会社2社とのシナジー効果が、売上の増加と費用削減につながると予想しております。第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、共に、前回公表数値と同額を予想しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,923,789	4,774,068
受取手形及び売掛金	20,699	18,251
商品及び製品	172,544	156,093
原材料及び貯蔵品	12,951	11,831
その他	86,980	99,640
流動資産合計	5,216,965	5,059,884
固定資産		
有形固定資産	359,831	356,640
無形固定資産		
のれん	58,235	54,596
その他	28,336	27,296
無形固定資産合計	86,571	81,892
投資その他の資産	723,130	796,444
固定資産合計	1,169,534	1,234,977
資産合計	6,386,499	6,294,861
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	37,881	19,542
短期借入金	250,000	310,000
未払法人税等	57,080	5,099
賞与引当金	47,839	82,471
役員賞与引当金	—	55
その他	277,623	400,270
流動負債合計	670,425	817,439
固定負債		
退職給付に係る負債	105,927	104,867
資産除去債務	18,516	18,557
その他	9,629	11,769
固定負債合計	134,073	135,193
負債合計	804,498	952,633
純資産の部		
株主資本		
資本金	212,700	212,700
資本剰余金	29,700	29,700
利益剰余金	5,733,097	5,506,462
自己株式	△370,992	△370,992
株主資本合計	5,604,504	5,377,870
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△40,340	△54,228
為替換算調整勘定	17,836	18,586
その他の包括利益累計額合計	△22,503	△35,641
純資産合計	5,582,001	5,342,228
負債純資産合計	6,386,499	6,294,861

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	736,885	761,878
売上原価	556,963	584,083
売上総利益	179,921	177,795
販売費及び一般管理費	262,122	234,659
営業損失(△)	△82,200	△56,864
営業外収益		
受取利息	212	336
受取配当金	1,123	1,246
持分法による投資利益	—	139
受取賃貸料	466	492
保険解約返戻金	—	925
その他	478	528
営業外収益合計	2,279	3,668
営業外費用		
支払利息	1,160	854
投資有価証券評価損	649	1,237
その他	39	15
営業外費用合計	1,849	2,108
経常損失(△)	△81,770	△55,304
特別利益		
事業分離における移転利益	4,494	—
特別利益合計	4,494	—
特別損失		
固定資産除却損	3,855	281
特別損失合計	3,855	281
税金等調整前四半期純損失(△)	△81,131	△55,586
法人税等	△1,818	5,657
四半期純損失(△)	△79,312	△61,243
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△79,312	△61,243

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純損失(△)	△79,312	△61,243
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,929	△13,887
為替換算調整勘定	△905	749
その他の包括利益合計	△7,835	△13,137
四半期包括利益	△87,147	△74,380
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△87,147	△74,380
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益(損失)に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注)1 (千円)	合計 (千円)	調整額 (注)2 (千円)	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3 (千円)
	教育事業 (千円)	スポーツ事業 (千円)	飲食事業 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客に 対する売上高	518,643	134,956	53,157	706,756	30,128	736,885	—	736,885
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	—	—	—	—	2,116	2,116	△2,116	—
計	518,643	134,956	53,157	706,756	32,245	739,002	△2,116	736,885
セグメント損失 (△)	△42,221	△14,637	△19,198	△76,057	△6,142	△82,200	—	△82,200

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バスケット教室事業・農業事業・中古ゴルフクラブ販売事業及び焼肉店事業等を含んでおります。

2. 調整額はセグメント間取引の消去であります。

3. セグメント損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注)1 (千円)	合計 (千円)	調整額 (注)2 (千円)	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3 (千円)
	教育事業 (千円)	スポーツ事業 (千円)	飲食事業 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客に 対する売上高	524,390	154,331	53,971	732,692	29,185	761,878	—	761,878
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	—	—	—	—	701	701	△701	—
計	524,390	154,331	53,971	732,692	29,886	762,579	△701	761,878
セグメント損失 (△)	△14,069	△21,566	△16,091	△51,727	△5,137	△56,864	—	△56,864

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バスケット教室事業・農業事業・不動産事業等を含んでおります。

2. 調整額はセグメント間取引の消去であります。

3. セグメント損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。